

学び合いを通して生き生きと運動する児童の育成

できる・わかる・認め合う体育科の授業を通して

生き生きと運動する児童に

さいたま市立南浦和小学校
校長 小野 圭 司



本校の児童には、生き生きと運動してほしいと願っています。また、他の学校の児童も同様です。そのためには、どうすればよいのか研究した成果を本日発表いたします。本校の研究では、生き生きと運動する児童を育成するためには、

- ① 共に高め合えるようにすること
- ② できたという実感を味わわせること
- ③ 体力を向上させること

が大切であると考えました。また、人権教育の視点も加えることで、一層、生き生きと運動する児童の育成につながると考えています。

そこで、本日の研究授業や本リーフレットで、この3点について具体的な手立てをお示ししますので、各学校でもぜひ実践し、生き生きと運動する児童の育成につなげていただければと思います。

結びに、これまで丁寧かつ適切なお指導をいただきました、さいたま市教育委員会の皆様に深く感謝を申し上げ、あいさついたします。



令和5年10月20日(金) さいたま市立南浦和小学校

研究主題

「学び合いを通して **生き生きと** 運動する児童を育成する」ために

このリーフレットの内容は
研究の一部です。



研究の詳細については、
以下のQRコードを読み取り
紀要にてご確認ください。



私たちは、こんな指導・支援に取り組んできました

視点1 高め合い

できるようにするために
大いにほめること
わかるようにするために
擬態・擬音語で表現
認め合えるようにするために
関わり合いの場面を設定

視点2 力がついた実感

できるようにするために
パワーアップタイムの設定
わかるようにするために
「南小スモールステップ」
での段階的な指導

視点3 体力向上

できるようにするために
オリエンテーションの
充実による用具の準備、
片付けの時間短縮
わかるようにするために
タブレット端末を活用
認め合えるようにするために
課題提示の工夫

子どもたちの、こんな姿が見られるようになってきました

できる

意欲・自己肯定感の向上

わかる

動きのポイントの理解
仲間同士のアドバイス

認め合う

温かい雰囲気づくり
一緒に学習する良さ



できる

技能の高まり

わかる

自分の伸びを実感
次時へのめあてをもつ

日付	めあて	今日のふりかえり
8/3	1. わたしはうん いよう	今日のめあてができてよかった みんなよく頑張ったよ これからも頑張ろう
9/5	1. 下り坂でも いよう	今日のめあてができてよかった みんなよく頑張ったよ これからも頑張ろう
9/6	さかかしの コツを思い出 せよう	今日のめあてができてよかった みんなよく頑張ったよ これからも頑張ろう
9/7	上がりわざに チャレンジ	今日のめあてができてよかった みんなよく頑張ったよ これからも頑張ろう

できる

運動量の確保

わかる

「良い動き」の理解

認め合う

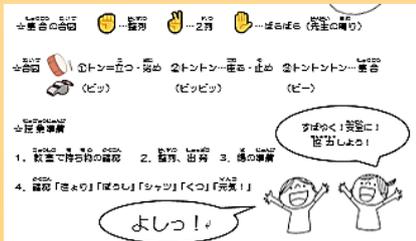
自分や友達の動きの確認



以下の手立てで、日々の体育授業の充実を図ってきました

授業研究部

全学年で、同じ表紙の
体育カードを使っています。



同じフォーマットなので
学年が変わっても安心

技とパワーアップタイムの
系統表を作成・活用して
います。

中学年	高学年
基本的な技（発展技）	発展技（さらなる発展技）
3年 前転	5年 補助倒立前転 倒立前転
3年 開脚前転	
4年 補助倒立前転	
3年 後転	6年 伸膝後転
3年 開脚後転	
3年 腕立て横跳び越し	5年 倒立ブリッジ
3年 川跳び	6年 ロンダート
4年 補助倒立ブリッジ	
4年 側方倒立回転	

技の系統表（一部抜粋）

運動量の確保のため、
タブレット端末を活用する
場面を精選しています。

（活用例）

低…1回だけ撮影する

良い動きの動画を見る

中…評価をスタンプで行う

手本動画と比べる

高…「映え」を意識して撮影する

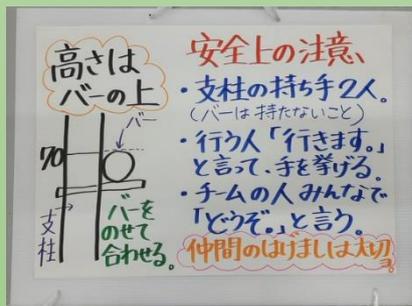
（技の完成度を高めるため）

環境整備部

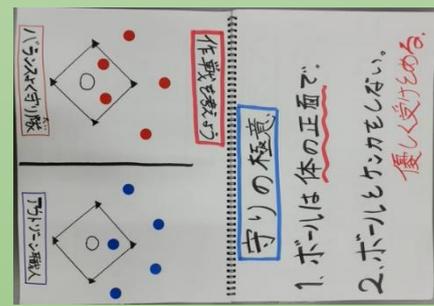
運動の内容や児童の実態に合わせながら、課題等の提示方法を工夫しています。



めあての部分は差し替えられるので、クラス毎の進度の差にも対応



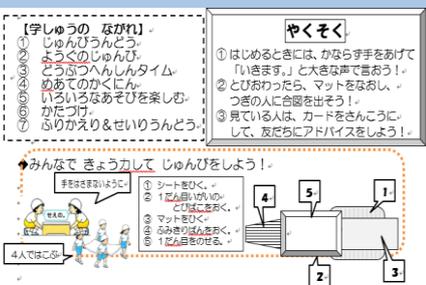
今日のめあてやきまり・安全に関する内容を分かりやすく提示



画板やプラダンを2つつなげたもの、スケッチブックなどを使用。軽いので持ち運びが楽

情報活用部

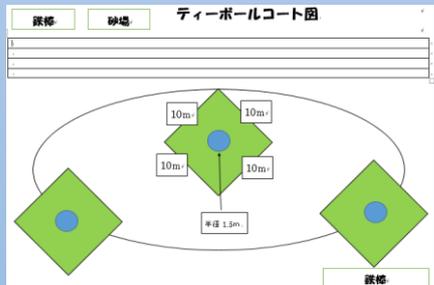
単元別の体育カードや、校庭に引くライン等の様子の写真をデータで保存しています。



単元別に学習の進め方を確認することができる体育カード



次年度にも場づくりのイメージをもって指導に当たることができる写真



毎月末に、次の体育授業で使うライン等の場所を確認できる資料

月	通年での取り組み(順不同)	時期に応じた取り組み	
4	ニコニコの木 	授業で言われて嬉しかった言葉や、できるようになったことを葉のカードに書いて貼り付けていく。	
5		いじめ防止キャンペーン 	児童会がいじめ撲滅スローガンを呼びかける取り組みを行うことで、いじめの未然防止を全校に呼びかける。
6			教室に、体育カードで「すてきな記入(技能向上等につながる思考判断面や主体的に学習に取り組んでいることが書いてあるもの)」があったものを掲示することで、児童のふりかえりとメタ認知への意識を高める。
7	素敵なノート紹介 	ペア一鉢運動 ペアで共に花を育て、成長を見守ることで、日常的に継続して異学年と交流を深める良さを感じるとともに、花を育てながら楽しくふれあい、協力、思いやりの心を育てる。	
8	ふれあいタイム 学年や学級の所属を離れ、異学年との交流を通すことで、心身の発達の違いを認識し、集団の一員としての自覚を深め、協力して活動する機会とする。		5年生までの各学級で1人1枚ずつ桜のカードにメッセージを書き、桜の木の絵に貼って花を咲かせることで、6年生への感謝の気持ちを伝える。
9			
10	スマイル写真館 校外行事や日常の授業や活動の様子を掲示することで、集団の一員としての自覚を深め、協力する気持ちをはぐくむ。	ありがとうの木 友達にしてもらって嬉しかったことをカードに書いて、ポストに投函し、ありがとうの木に掲示する。	
11		6年生への卒業メッセージ スマイル学級校内作品展 スマイル学級(特別支援学級)の児童が1年間の学習で作った作品を展示し、全校に見てもらう活動を行っている。	ボランティア感謝の会
12			学年や学級の所属を離れ、異学年との交流を通すことで、心身の発達の違いを認識し、集団の一員としての自覚を深め、協力して活動する機会とする。
1	スマイル写真館 校外行事や日常の授業や活動の様子を掲示することで、集団の一員としての自覚を深め、協力する気持ちをはぐくむ。	6年生への卒業メッセージ スマイル学級校内作品展 スマイル学級(特別支援学級)の児童が1年間の学習で作った作品を展示し、全校に見てもらう活動を行っている。	ボランティア感謝の会
2			
3			

研究を進めるにあたり、ご指導いただきましたさいたま市教育委員会の指導者の皆様には感謝を申し上げますとともに、今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。

《 ご指導いただいた先生 》

- ① 体育科： 学校教育部 指導1課
 課長 藤田 昌一 先生
 主任指導主事 大澤 諭 先生
- ② 人権教育： 生涯学習部人権教育推進室
 室長 釜 浩美 先生
 主任指導主事 磯部 繁征 先生
 主査 駒宮 寿夫 先生 ・ 井山直之 先生

あとがき

本校は3年間にわたり、体育科を通じた人権教育の研究に取り組んでまいりました。今後もこれまでの実践を振り返りながら、お互いのよさや違いを認め合い、共に学び合う児童の育成を目指して工夫・改善をしてまいります。終わりになりますが、これまで、本研究を進めるにあたり、ご指導、ご支援いただきました指導者の方々をはじめとして、多くの関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

教頭 佐々木良枝